

しろやま

令和5年8月発行

「目には見えないものの中にある大切なもの」

校長 宮田 研郎

8月21日の出校日、夏休みに入って既に32日が過ぎました。1学期の終業式に「夏休みが一番大切な事は『命』を守ることです」と話しましたが、保護者や地域の皆様の御協力もあり、名山っ子の皆さんはこれまで大きな事故等も無く、元気に過ごしていることを大変嬉しく思います。夏休みはあと10日しか、いえ、10日もあります。この10日間、一日一日の目標を立て直し、生活のリズムを整え毎日を有意義に過ごし、2学期が気持ちよくスタートできるようにしましょう。

ところで、皆さんは満天の星空を眺めたことがありますか。市街地に暮らしていると街明かりのため、肉眼ではあまり星が見えないのが残念です。私は以前、山間部の学校に勤務していたことがありますが、晴れた日の夜の満天の星空の美しさといったら、今でも忘れられません。昼間は見えない星ですが、本当は空にはこんなにもたくさんの星々が輝いているんだなあと感動していました。そして、そんな時、いつも思い出されるのが、童謡詩人 金子みすゞさんの詩、「星とたんぼぼ」の一節です。

「青いお空のそこふかく、海の小石のそのように、夜がくるまでしずんで、昼のお星はめにみえぬ。

見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。」
教科書にも掲載される有名な詩ですので、読まれた方も多いのではないのでしょうか。『目には見えないものの中にある大切なもの』、この詩はそんなことを私たちに教えてくれる、素敵な作品です。

学力（生きる力）にも、目に見えて分かりやすい力、つまりテスト等で測定できる「認知能力」と呼ばれる力と、数値に表しにくい力である「非認知能力」があることは御存じでしょうか。

「非認知能力」とは、主体的に学習に取り組む態度、自己の感情や行動を統制する力、互いのよさを生かして協働する力、優しさや思いやりなどの数値に表しにくい資質・能力ではありますが、これからの時代を生き抜くためにはとても重要な力でもあります。

鹿児島市が作成している第二次教育振興基本計画の中では、子どもたちの育成すべき資質・能力を、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、そして、この「非認知能力」の3つの柱としています。

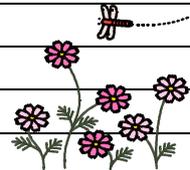
9月1日から始まる2学期は一番長い学期であり、子どもたちがじゅくりと学びに向かう期間でもあります。そこで、学校では毎日の授業やいろいろな行事を通して、これら3つの資質・能力のバランスに配慮しながら、「非認知能力」である「学びに向かう力・人間性等」を知識や技能の習得等を向上させる重要な土台と位置づけ、様々な教育活動等に取り組んでいきます。

2学期も皆様の御支援・御協力をよろしく願いいたします。

8月19日（土）の愛校作業にはたくさんの方々の御協力をいただき、ありがとうございました。学校がとてもきれいになりました。子どもたちも気持ちよく2学期のスタートが切れます。今後ともよろしく願いします。

9月の行事予定

日	曜	行 事 名
1	金	始業式
2	土	週休日
3	日	週休日 日曜城山登山
4	月	
5	火	授業参観・学級PTA(1・3・5年)
6	水	授業参観・学級PTA(特別支援学級)
7	木	委員会活動
8	金	授業参観・学級PTA(2・4・6年)
9	土	土曜授業
10	日	週休日
11	月	
12	火	学校運営協議会
13	水	鹿児島大学体験実習(6名~15日)
14	木	クラブ活動 グリーンタイム
15	金	
16	土	週休日
17	日	週休日
18	月	敬老の日
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	秋分の日
24	日	週休日
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	



【訂正のお知らせ】

先月号で新しく着任されました通学保護員の山下由美子さんの御名前が間違っておりまして、お詫びして訂正します。